

# 海軍公報

第三千六百七十三號

海軍大臣官房

大正十四年二月二日(月)

## ○ 辭 令

○大正十四年一月三十一日

任海軍屬

給十級俸

任海軍書記

給八級俸

任海軍書記

給九級俸

○大正十四年二月一日

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

本島 基惠

田中 彌五郎

正八位 桂木 道義

松本 外次

若狹 外吉

山口 與三郎

森永 米次郎

森 除作

坂下 市郎

山下 敬三郎

森本 敬夫

海軍省醫務局附ヲ命ス  
依願免本官

海軍屬 本島 基惠

(各通)

海軍書記 田中 彌五郎  
同 桂木 道義  
佐世保海軍經理部附ヲ命ス(以上一月一日海軍省)

## ○ 雜 款

○郵便物發送先  
軍艦安宅宛

自今

佐世保

○旗艦變更

第一艦隊司令長官ハ一月三十一日旗艦ヲ山城ヨリ陸奥ニ變更セリ

海軍造兵大佐從五位勳四等松木宇吉本月一日卒去、葬儀ハ明三日午後二時ヨリ同三時迄東京市外大井町西光寺(省線大井町驛下車、大井町小學校裏)ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印ハヘカシ  
指定ヲ要セス

○二月二日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名▲、滿州、北上、  
蒼手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑▲、  
金剛▲

【沖風】

澤風、峯風、矢風、□沙風、灘風、  
島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五、  
潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、  
□神風▲、夕立、夕暮、初霜、如月、響

【浦賀】

阿武隈、驅一一、  
□時津風、磯風、天津風、濱風、  
□潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

【大湊】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、  
伊勢、勝利、韓崎、矢矧、比叡▲、  
□谷風、菊、江風、葵、□驅一八、驅一六、  
驅一〇、驅一一

【吳】

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、  
潛波七、潛波八、□潛呂五三、潛呂五一、  
□潛呂一四、潛呂一六、潛呂一五、  
□潛呂一八、潛呂一九、潛呂一七、

【神戶】

神通  
潛呂五二、潛伊五二、潛伊五一、  
潛呂六三

【由宇沖】

長鯨  
□呂潛六〇、潛呂六一、潛呂六二、  
□潛呂二八、潛呂二七、潛呂二六

【德山】

膠州  
□陸奥、山城、日向、▽鬼怒、大井、  
□天龍、▽迅鯨、□霧島、▽名取、長良、  
由良、川内、▽五十鈴、常磐、若宮

【三田尻】

秋風  
□藤、萩、薄、葛、□驅六、驅二、驅八、  
□波風、沼風、驅一、野風、□驅七、驅三、  
驅五、驅九、□太刀風、帆風、羽風、

【舞鶴】

間宮  
□潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、  
□潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六

【練浦】

脚東  
□山風、海風、檜、榎

【佐世保】

最上▲、宇治、龍田

海軍公報 第三六七三號 大正十四年二月二日

九七

0123

桃、柳、檜、檜、樞、樞、梨、竹、樺、  
 栗、柿、楡、蓬、蓮、蓼、茨、蕨、  
 葦、葦、樺、樺、樺、樺、桑、驅一七、  
 驅四、  
 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、潜呂四、  
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、  
 掃四、朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪、  
 敷島、襟裳、知床、神威、野島、  
 【馬公】 駒橋、  
 樺、松、杉、柏、  
 潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一、  
 【高雄】 夕張、  
 【鎮海】 楓、梅、桂、楠、  
 潜呂三三、  
 【旅順】 下桐、樺、  
 【南洋群島】 泥、  
 【上海】 利根、嵯峨、伏見、安宅、對馬、  
 【鎮江】 剛田、  
 【南京】 鳥羽、  
 【漢口】 勢多、  
 【長沙】 保津、  
 【宜昌】 比良、  
 【重慶】 堅田、  
 【七ノ】 佐多

【航海中】

隠戸 (一月二十四日大湊發「タラカン」へ)  
 尻矢 (一月二十七日「タラカン」發「大湊」へ)  
 石廊 (一月二十八日「タラカン」發「徳山」へ)  
 鳴戸 (一月二十九日「タカラ」發「ニラ」へ)  
 淺間、出雲、八雲 (一月三十日桑港發「エスカ  
 イモルト」へ)  
 鶴見 (一月三十日「セブ」發「タラカン」へ)  
 大泊 (二月三十一日小樽發「亞港」へ)  
 櫻、橘 (一日青島發「旅順」へ)  
 富士 (一日大阪發「吳」へ)  
 劍埼 (一日舞鶴發「徳山」へ)  
 早朝 (一日佐世保發「馬公」へ)

(附録二頁、部内限ナシ)

0124

# 海軍公報 附録

大正十四年二月二日(月)  
海軍大臣官房

## ○雜款

### ○圖書

去ル一月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

### 和漢書ノ部

#### 第一門

|                  |            |          |     |
|------------------|------------|----------|-----|
| 日米 日本は負けな        | 海軍少佐石丸藤太著  | 大正一三     | 四一九 |
| 海軍經理學校五十年史(謄寫版刷) | 海軍經理學校編    | 大正一三     | 四二五 |
| 大正十二年度練習艦隊記事     | 同艦隊司令部編    | 大正一三     | 四三五 |
| 東洋燈臺表            | 水路部編       | 大正一三     | 四三六 |
| 所謂國民國防           | 陸軍中將筑紫熊七著  | 大正一三     | 四三六 |
| 陸軍の根本改造          | 陸軍大佐小林順一郎著 | 大正一三     | 四三六 |
| 日本刑法             | 牧野英一著      | 大正一三、一九版 | 四三六 |
| 例民事訴訟手續總攬        | 田山卓爾著      | 大正一三、一五版 | 四三六 |
| 皇國國體             | 八代六郎著      | 大正一三     | 四三六 |

#### 第二門

|                    |                                  |      |     |
|--------------------|----------------------------------|------|-----|
| 朝鮮論                | 川島清治郎著                           | 大正一三 | 四三〇 |
| 「ロンドン」會議諸條約及其他ノ文書  | 外務省條約局編                          | 大正一三 | 四三三 |
| 米國と太平洋             | 大島高橋著                            | 大正一三 | 四三六 |
| 是でも世界平和乎           | 華府會議後の世界と日本<br>海軍少佐石丸藤太著         | 大正一三 | 四三九 |
| 國有財産法詳論            | 加藤敏次著                            | 大正一四 | 四三三 |
| 米國の國債に關する調査        | 附大藏省發行の貯蓄證券<br>大藏省理財局編           | 大正一三 | 四三九 |
| 勞農露國に於ける民族問題       | 南滿洲鐵道株式會社編<br>大正一三(勞農露國調査資料第十四編) | 大正一三 | 四三三 |
| 露國避難民救護誌           | 朝鮮總督府編                           | 大正一三 | 四三四 |
| 都市計畫 道路施設の財源に關する調査 | 復興局編                             | 大正一三 | 四三六 |
| 地方計畫及大都市計畫         | ザロトヂ、ビーフホード著<br>復興局編             | 大正一三 | 四三七 |
| 公園及休養娛樂施設論         | 復興局編                             | 大正一三 | 四三六 |
| 都市計畫に關する英國法制及行政    | 菊池慎三編<br>復興局調查報告 第六號             | 大正一三 | 四三四 |
| 帝都復興事業に就て          | 太田圓三著                            | 大正一三 | 四三五 |

海軍公報 附録

東京市復興計畫三千分一大地圖 復興局編 大正一三 四十二枚

四三六

第三門

大日本天皇御系圖 朝倉尚綱著 大正一三、再版

四三三

成吉思汗ハ源義經也 小谷部全一郎著 大正一三

四三六

支那當代新人物 清水安三著 大正一三

四三三

支那新人と黎明運動 清水安三著 大正一三

四三三

少 太平記 射手矢貞三編 大正一三、二冊

四三三

海上の勝利 米國海軍少將ダアルユ、ユス、シムス著 海軍少佐石丸藤太郎譯 大正一三

四三〇

第四門

佛領印度支那 前田實治郎著 大正一三(南方研究第二冊) 四五六

第五門

露西亞共和國の國民教育 南滿洲鐵道株式會社編 大正一三 四三〇

第四十三潜水艦記念帖 海軍省編 大正一三 四三六

第六門

大正十一年 震災地測量報告 水路部編 大正一三 四三七

靜岡縣大正震災誌 靜岡縣編 大正一三 四四六

大正震災美績 東京府編 大正一三 四四四

母國復興記念寫真帖 南加州華僑救濟會編 大正一三 四三六

第七門

ラヂオと飛行機 山口巖著 大正一三

四三六

第八門

日本建築要鑑 江村恒一編 大正一三

四三四

露國の工業組織 南滿洲鐵道株式會社編 大正一三 (露農露國調查資料 第十五編)

四三一

帝國海運政策論 寺島成信著 大正一二

三七三

獨逸海底電線並ニ無線電信(電話)ニ關スル調査 農商務省水産局編 大正一三

四三三

露領漁業調査書 農商務省水産局編 大正一三

四三六

スキーとスケート 鐵道省編 大正一三

四三九

# 海軍公報

第三千六百七十四號

大正十四年二月三日(火)

海軍大臣官房

## ○雜款

○電話架設  
海軍省教育局第三課長  
半込三三九〇番 海軍機關大佐 遠藤九郎  
小石川區高田老松町一七

○特務艦早朝行動豫定

地名 着

發

佐世保 二月五日

二月七日

馬公 二月十三日

二月十五日

タラカン 二月二十七日

三月一日

德山 三月二日

○特務艦高崎行動豫定

地名 着

發

横須賀 二月二十八日

二月二十六日

神戶 三月五日

三月四日

吳 三月十二日

三月十日

佐世保 三月十四日

三月十四日

長崎 三月十八日

三月十七日

鎮海 三月二十一日

三月二十日

佐世保 三月二十六日

三月二十四日

海軍公報 第三六七四號

大正十四年二月三日

九九

後備役海軍中佐從五位勳四等功五級三田村誠造本月一日名古屋市南區熱田白鳥町七九ニ於テ卒去セ

0127

○艦船所在

▲印ハハハハ  
指定ヲ要セス

○二月三日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名▲、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑▲、金剛▲

□沖風、澤風、峯風、矢風、□沙風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

□潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、□潛呂一三、潛呂一一、潛呂一二

□神風▲、夕立、夕暮、初霜、如月、響洲崎、朝日、武藏、松江、青島、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【大湊】□時津風、磯風、天津風、濱風

□潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

【吳】明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、比叡▲

□谷風、菊、江風、葵、□驅一八、驅一六、驅一〇、驅一一

□潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、□潛呂五三、潛呂五一、□潛呂一四、潛呂一六、潛呂一五、□潛呂一八、潛呂一九、潛呂一七

潛呂五二、潛伊五二、潛伊五一、

潛呂六三、□潛呂五五

□浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、野間、能登呂▲、室戶、大和、富士

【神戸】

神通 潛呂三一、潛呂六四、潛伊一

【藤生】

□迅鯨 潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、潛呂五四、潛呂五六

【由宇沖】

□長鯨 潛呂六〇、潛呂六一、潛呂六二、□潛呂二八、潛呂二七、潛呂二六

【三田尻】

□陸奥、山城、日向、□鬼怒、大井、□天龍、□霧島、□名取、長良、由良、川内、□五十鈴、常磐、若宮

□藤、萩、薄、萬、□驅六、驅二、驅八、□波風、沼風、驅一、野風、□驅七、驅三、驅五、驅九、□太刀風、帆風、羽風、秋風

□掃一、掃二、掃三

【舞鶴】

問宮 吾妻▲、春日、□山風、海風、榴、櫻

【糠浦】

關東 最上▲、宇治、龍田

【佐世保】

一〇一

〔桃〕柳、檜、樺、〔榭〕榭、梨、竹、〔梅〕  
 栗、柿、楡、〔蓮〕蓮、蓼、〔茨〕茨、菱、  
 葦、菴、〔椿〕椿、〔榿〕榿、〔桑〕桑、〔驅〕驅一七、  
 驅四、  
 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、〔潜呂〕潜呂四、  
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四  
 掃四、〔朝風〕朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪  
 敷島、襟裳、知床、神威  
 〔馬〕 駒橋  
 〔公〕 榭、松、杉、柏  
 〔高〕 潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一  
 雄 夕張  
 〔鎮〕 〔榭〕榭、梅、桂、楠  
 海 〔潜呂〕潜呂三三  
 〔旅〕 〔榭〕榭、櫻、橘  
 順 〔榭〕榭、  
 〔南洋群島〕 淀  
 〔上〕 〔對馬〕對馬、嵯峨、伏見、安宅  
 海 〔隅田〕隅田  
 〔鎮〕 〔隅田〕隅田  
 江 〔鳥羽〕鳥羽  
 〔南〕 〔鳥羽〕鳥羽  
 京 〔勢多〕勢多  
 〔漢〕 〔保津〕保津  
 口 〔比良〕比良  
 〔長〕 〔佐田〕佐田  
 沙 〔重慶〕重慶  
 〔宜〕 〔佐多〕佐多  
 昌 〔七乙〕七乙

〔マニラ〕 鳴戸  
 〔タラカン〕 鶴見  
 〔航海中〕  
 隠戸 (一月二十四日大湊發「タラカン」へ)  
 尻矢 (一月二十七日「タラカン」發「大湊」へ)  
 石廊 (一月二十八日「タラカン」發「徳山」へ)  
 〔淺間、出雲、八雲 (一月三十日桑港發「エスカ  
 イモルト」へ)  
 大泊 (一月三十一日小樽發「亞港」へ)  
 早鞆 (一月三十一日佐世保發「馬公」へ)  
 劍崎 (一日舞鶴發「徳山」へ)  
 利根 (二日上海發「佐世保」へ)  
 攝津 (二日吳發「佐伯灣」へ)  
 野島 (二日佐世保發「吳」へ)  
 膠州 (二日徳山發「大湊」へ)

(部内限三頁)

0129



# 海軍公報

第三千六百七十五號

大正十四年二月四日(水)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房第三六七號

大正十三年度歲出科目左ノ通追加ス

大正十四年二月四日

海軍大臣財部 彪

歳出經常部

| 款      | 項    | 目      | 節    |
|--------|------|--------|------|
| (海軍本省) | (俸給) | (委任俸給) |      |
|        |      |        | × 出仕 |

官房第二五六號ノ三

大正十三年度歲出科目左ノ通追加ス

大正十四年二月四日

海軍大臣財部 彪

海軍公報 第三六七五號

大正十四年二月四日

歳出臨時部

| 款       | 項             | 目      | 解疏 | 會計科目<br>電信略號 |
|---------|---------------|--------|----|--------------|
| (艦艇製造費) | (補助艦艇<br>製造費) |        |    |              |
|         |               | × 休職俸給 |    | 夕ホ           |

## ○辭 令

○大正十四年二月三日

(各通)

任海軍技手 岩男 政雄  
給六級俸 森永 喜一  
任海軍技手 河田 香一  
給月俸七拾圓 加藤 清  
任海軍技手 給七級俸 海軍技手 岩男 政雄

一〇三

0130

(各通) 森永喜一  
河田音一  
加藤清

佐世保海軍工廠 海軍技手 下條貞利

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ免シ吳海軍工廠

附ヲ命ス 海軍技手 吉野徳一

依願免本官(以上海軍省) 勝男

聯合艦隊ニ於ケル齒科治療業務ヲ囑託ス

但報酬月額百八拾圓ヲ給シ部内限リ奏任官待遇トス

○雜款

○旗艦變更 第一遣外艦隊司令官ハ本月二日旗艦ヲ利根ヨリ對馬ニ變更セリ

○郵便物發送 第二艦隊司令部、霧島、第五艦隊司令部、名取、長良、川内宛

三月十日迄ニ對シテ見送ルモノハ三田尻  
同十七日迄ニ同 別府

三月五日迄ニ同 三田尻  
同九日迄ニ同 吳

第二水雷艦隊司令部、五十鈴、第一驅逐隊(波風、沼風、

第一、野風)、第四驅逐隊(太刀風、秋風、羽風、帆風)、

第五驅逐隊(驅七、驅九、驅三、驅五)宛

二月七日迄ニ到達見込ノモノハ 三田尻

同十五日迄ニ同 由宇

同二十一日迄ニ同 吳

三月三日迄ニ同 由宇

同五日迄ニ同 宮島

同十日迄ニ同 吳

同十二日迄ニ同 宇品

同二十日迄ニ同 由宇

同二十四日迄ニ同 德山

○試驗問題發送 大正十四年二月初旬募集豫定ノ第五十四期普通科砲術練習生採用試驗問題大正十四年二月三日發送済ニ付未著ノ向ハ申出相成度 (海軍砲術學校)

○赴任 佛國在勳帝國大使館附武官ニ補セラレタル海軍中佐洪泰夫ハ來二月十三日東京出發十五日神戸發ノ加茂丸ニ乗船赴任ノ豫定

○艦船所在

▲印ハハハハ  
指定ヲ要セス

○三月四日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、  
磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑、

【金剛】

仲風、澤風、峯風、矢風、区沙風、灘風、  
島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

【潜波一】

潜波一、潜波二、潜波九、潜波一〇、  
潜波一三、潜波一一、潜波一二

【神風】

夕立、夕暮、初霜、如月、響  
洲崎、朝日、武蔵、松江、青島、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一

【大湊】

時津風、磯風、天津風、濱風  
潜呂三〇、潜呂三三、潜呂三二

【吳】

明石、千歳、木曾、球磨、多摩、平戸、  
伊勢、藤力、韓崎、矢矧、比叡

【谷風】

菊、江風、葵  
潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、  
潜波七、潜波八、潜呂五三、潜呂五一、

【潜呂一四】

潜呂一六、潜呂一五、  
潜呂一八、潜呂一九、潜呂一七、  
潜呂五二、潜伊五二、

【潜呂五二】

潜伊五二

潜呂六三、潜呂二七

浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月  
野間、能登呂、室戸、大和、野島

【神戸】

神油  
潜呂三一、潜呂六四、潜伊一

【藤生】

迅鯨  
潜呂五九、潜呂五七、潜呂五八、  
潜呂五五、潜呂五四、潜呂五六

【由宇沖】

長鯨  
潜呂六〇、潜呂六一、潜呂六二、  
潜呂二八、潜呂二六

【徳山】

劍崎  
陸奥、山城、日向、鬼怒、大井、  
霧島、名取、長良、由良、川内、

【三田尻】

五十鈴、常磐、若宮  
波風、沼風、驅一、野風、驅七、驅三、  
驅五、驅九、木刀風、帆風、羽風、

【秋風】

掃一、掃二、掃三

【間宮】

間宮

【佐伯】

攝津

【辨鶴】

吾妻、春日  
山風、海風、檜、楳

【練浦】

關東  
最上、宇治、龍田

【佐世保】

〔桃〕柳、桧、樞、樅、梨、竹、〔樺〕栗、柿、榎、〔蓮〕蓮、蓼、〔厥〕葵、葦、〔樺〕樺、〔榎〕榎、〔桑〕桑、〔驅〕驅一七、驅四、

〔驅〕驅一、潛呂二、潛呂三、潛呂四、潛呂五、潛呂六、潛呂七、潛呂八、潛呂九、潛呂一〇、潛呂一一、潛呂一二、潛呂一三、潛呂一四、潛呂一五、潛呂一六、潛呂一七、潛呂一八、潛呂一九、潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二、潛呂二三、

〔馬公〕駒橋、敷島、樺柴、知床、神威

〔神〕松、杉、柏

〔高〕夕張、〔海〕梅、桂、楠

〔旅順〕樺、櫻、橘

〔上海〕對馬、樺、伏見、安宅

〔鎮江〕隅田、

〔南京〕鳥羽

〔漢口〕勢多

〔長沙〕保津

〔宜昌〕比良

〔重慶〕豐田

〔マニラ〕島白

〔タラカン〕鶴見

〔モスカイモルト〕淺間、出雲、八雲

〔航海中〕

〔隠戸〕（二月二十四日大湊發）「タラカン」へ  
 〔尻矢〕（二月二十七日「タラカン」發）大湊へ  
 〔石廊〕（二月二十八日「タラカン」發）徳山へ  
 〔大泊〕（二月三十一日小樽發）亞港へ  
 〔早鞆〕（二月三十一日佐世保發）馬公へ

〔利根〕（二日上海發）佐世保へ  
 〔膠州〕（二日徳山發）大湊へ  
 〔天龍〕（二日馬公發）大湊へ  
 〔萩、薄、萬、〕（二日馬公發）大湊へ  
 〔佐多〕（三日「セブ」發）徳山へ  
 〔富士〕（四日呉發）鎮海へ

（部内限一頁、同別表一枚）

# 海軍公報

第三千六百七十六號

海軍大臣官房

大正十四年二月五日(木)

## ○令達

官房第三八三號

來ル十一日紀元節ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ヘシ

大正十四年二月五日

海軍大臣 財部 彪

一、親任官、勅任官同待遇

午前九時十分賢所參集所へ參集

但勅任官同待遇ニシテ官中ノ宴會ニ召サレサル

向ハ御祭典ニ參列ノ後參賀

一、奏任官同待遇 並判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

正午ヨリ午後三時迄ニ參賀參拜

一、位勳ヲ有セサル判任官同待遇

午前十一時三十分本省へ參賀且午後二時三十分

ヨリ同三時三十分迄ニ參拜

## ○通牒

官房第三八四號

大正十四年二月五日

海軍次官 男爵 安 保 清 種

各 廳 長 殿

内帑金下期ニ關スル件

今般義濟會並報效會ニ對シ左記ノ通内帑金下期ノ御沙

汰在ラセラレ候右ハ軍人並戰死者遺族等ノ身上ヲ御軫

念アラセ給フ優渥ナル 體慮ニ出ツルモノト拜察シ誠

ニ感激ニ堪ヘサル次第ニ有之候付テハ其ノ旨軍人一般

ニ傳達方取計相成度

金七千八百圓

金拾五萬圓

右依命通牒ス

義濟會ニ下賜

報效會ニ下賜

(備考)

一、義濟會ニ對シテハ大正八年ヨリ毎年同額ノ下賜

海軍公報 第三六七六號 大正十四年二月五日

一〇七

0134

金アリテ同會盟約書第一條第二號ノ救濟ニ充テラレ居レリ

(義濟會盟約書第一條第二號拔萃)

在郷高等武官傷痍疾病又ハ己ムヲ得サル事情ニ

因リ救濟ノ必要アルトキハ定規ノ金額ヲ贈與シ

救濟ノ一助タラシムルコト

一、報效會ハ海陸軍人ヲ支持シ後顧ノ憂ナカラシム

ルコトヲ目的トスルモノニシテ其ノ事業等大要

左ノ如シ

(一) 事業

(イ) 在職中戰闘、公務ニ依ル死亡者若クハ自

巳ノ重大ナル過失ニ依ルニ非スシテ死亡

シタル者ノ遺族及不具癡疾トナラタル者

ニシテ生活困難ナルモノヲ保護ス

(ロ) 出征又ハ在隊中ノ者及其ノ遺族ヲ慰藉ス

(ハ) 在郷者ニ對シテハ身上ノ相談及之カ就職

仲介ヲ爲ス

右ノ事業ハ主トシテ准士官、下士官、兵ニ對シ

テ之ヲ行フモ時宜ニ依リ士官及軍屬ノ遺族ニ對

シテモ行フコトアリ

(二) 會ノ設立

本會ハ子爵澁澤榮一氏ノ設立ニ係ル財團法

人ニシテ大正九年以降同額ノ内帑金ヲ下賜

セラレ會員ノ釀出金ヲ以テ前記ノ事業ヲ實

施ス

(三) 慰藉實施

大正十二年四月一日ヨリ同十三年三月三十

一日迄ニ慰藉金贈ヲ與セルモノ左ノ如シ

(イ) 西伯利及其ノ沿海ニ於ケル海軍軍人軍

屬ノ戰死者ノ遺族及不具癡疾者並軍艦

新高及第四十三潜水艦殉職將校以下ノ

遺族ニ金貳拾圓宛

(ロ) 明治十年以降ノ戰公死者ノ遺族ニシテ

生計困難ナル者ニ金參拾圓宛

(ハ) 明治十年以降ノ戰公傷者中不具癡疾者

ニシテ生計困難ナル者ニ金六拾圓宛

○ 辭令

七拾五圓

七拾五圓

貳拾五圓

五拾圓

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

○ 雜款

海軍機關中佐 古市 龍雄

第一部第三課勤務ヲ命ス(三三海軍艦政本部)

○特務艦膠州行動豫定

| 地名 | 着      | 發      |
|----|--------|--------|
| 吳山 | 二月一日   | 二月一日   |
| 德山 | 二月八日   | 二月十一日  |
| 吳山 | 二月十七日  | 二月二十三日 |
| 大濠 | 二月二十三日 | 二月二十四日 |
| 吳山 | 三月十一日  | 三月五日   |

○監督官異動

| 出張地方 | 職               | 官氏名          |
|------|-----------------|--------------|
| 浦賀   | 造船監督官兼造兵監督官(首席) | 海軍造船大佐 鹽見和太郎 |
| 神戸   | 造船監督官           | 海軍造船中佐 笹井賢二  |

○轉官

海軍技手中村旭子ハ昨年十二月二十四日廣島縣技手ニ、同徳永顯吉ハ本年一月三十日都市計畫福岡地方委員會技手ニ執レモ轉官セリ

○休職滿期

休職海軍技手高津正夫ハ客年十二月一日休職滿期トナレリ

○左記ノ通大崎警察分署ヨリ電話アリタルニ付心當リノ者ハ海軍省法務局ニ申出テラレタシ  
大正十一年三月頃山ノ手線五反田驛附近ニ於テ大形「トランク」(伊太利地圖一、通帳五冊、望遠鏡三個入)ヲ電車内ニテ被害ニ罹リタル者ナキヤ目下該犯人逮捕取調中ナルカ右通帳及望遠鏡ハ物取後投棄シタリトノコト

豫備役海軍少將從四位勳二等功四級伊集院俊二月三日鹿兒島市加治屋町一一六自宅ニ於テ卒去、葬儀ハ來ル七日午後一時同市草牟田祭場ニ於テ神式ニ依リ執行

○艦船所在

印ハハホシ  
指定ヲ要セス

○二月五日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑、金剛

沖風、澤風、峯風、矢風、沙風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白霧、驅一五

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五二

神風、夕立、夕暮、初霜、如月、響洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【大湊】

時津風、磯風、天津風、濱風、潛呂二〇、潛呂二一、潛呂二二

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、比叡

谷風、菊、江風、葵、潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五二

潛呂一四、潛呂一六、潛呂一五、潛呂一八、潛呂一九、潛呂一七、潛呂五二、潛伊五二、潛伊五一

【神戸】

神通、潛呂三一、潛呂六四、潛伊一

【藤生】

迅鯨、潛呂五九、潛呂五七、潛呂五八、潛呂五五、潛呂五四、潛呂五六

【由宇沖】

天龍、長鯨、驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、驅一、萩、薄、葛、驅六、驅二、驅八

潛呂六〇、潛呂六一、潛呂六二、潛呂二八、潛呂二六

【徳山】

劍崎、陸奥、山城、日向、鬼怒、大井、霧島、名取、長良、由良、川内

五十鈴、常磐、若宮、波風、沼風、驅一、野風、驅七、驅三、驅五、驅九、太刀風、帆風、羽風、秋風

掃一、掃二、掃三

間宮

【佐伯】

攝津、吾妻、春日

【舞鶴】

山風、海風、檜、榎

0137



【糠浦】 關東

【佐世保】 最上▲、宇治、龍田、利根

栗、柿、柳、檜、榎、樺、椴、梨、竹、梅、

葦、葦、樺、櫻、榎、桑、驅一七、

驅四▲

潜呂一、潜呂二、潜呂二五、潜呂四、

潜呂五、潜呂三、潜呂二四

掃四、朝風、潮、子日、春風、若葉、

初雪

敷島▲、襟裳▲、知床▲

【馬公】 駒橋

早朝

潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

早朝

【重慶】 堅田  
【マニラ】 鳴戸  
【ユスカイモルト】 淺間、山雲、八雲

【航海中】

隱戸 (一月二十四日大湊發「タラカン」へ)

尻矢 (一月二十七日「タラカン」發「大湊」へ)

石廊 (一月二十八日「タラカン」發「徳山」へ)

大泊 (一月三十一日小樽發「亞港」へ)

膠州 (二月徳山發「大湊」へ)

佐多 (三日「セブ」發「徳山」へ)

鶴見 (三日「タラカン」發「マニラ」へ)

青島 (三日横須賀發「吳」へ)

富士 (四日吳發「鎮海」へ)

神威 (四日佐世保發「徳山」へ)

(部内限一頁)

# 海軍公報

第三千六百七十七號

大正十四年二月六日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

恩第六三號

大正十四年二月六日

海軍諸例  
則登載

各廳御中

海軍省人事局

履歷事項通報ニ關スル件

海軍准士官以上履歷費及身上取扱規則ニ依リ海軍省人事局長若ハ海軍人事部長ニ通報セラルヘキ事項中恩給年加(除)算ニ關スル事項ニ付テハ左記様式ニ依リ大正十三年恩第五七號別紙記載例(大正十三年一月二十九日海軍公報所載)ニ準シ通報ノコトニ御取計相成度  
右照會ス

(田澤博等(野野村))

年 日 月 日 年 日 月 日 年 日 月 日 年 日 月 日

海軍公報 第三六七七號 大正十四年二月六日

備考

司令部長又ハ艦隊長、掃海隊、掃水隊等ノ乗員ニ付テハ、勤務録ノ種ニ各共ノ乘員名ヲ記載ス

## ○辭令

○大正十四年二月五日

任海軍監獄看守長 小山 末藏  
給月俸七拾圓

海軍監獄看守長 小山 末藏  
横須賀海軍刑務所附ヲ命ス(元日海軍省)  
第一課勤務ヲ命ス 海軍機關中佐 古市 龍雄  
第三課勤務ヲ命ス(以上ニ付海軍省軍需局)  
海軍造兵大尉 美川 一雄  
海軍技手 山口 四郎  
第三課附ヲ命ス(元日海軍省軍需局)

## ○雜款

○郵便物發送先

0139

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、陸奥、日向、山城、  
第三戰隊司令部、鬼怒、大井、若宮宛

二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 三田尻  
同 十七日迄ニ 同 吳

三月 五日迄ニ 同 三田尻  
同 九日迄ニ 同 別府

同 二十一日迄ニ 同 三田尻  
同 二十三日迄ニ 同 德山

其ノ後ハ 佐世保  
抹桑宛  
二月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀  
同 二十七日迄ニ 同 吳

其ノ後ハ聯合艦隊司令部ニ同シ  
常磐、第一掃海隊（第一號掃海艇、第二號掃海艇、第  
三號掃海艇）宛

二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 三田尻  
同 十七日迄ニ 同 吳

三月 五日迄ニ 同 常磐ハ 安下庄  
其ノ後ハ聯合艦隊司令部ニ同シ 第一掃海隊ハ 新

但シ三田尻沖及別府在泊中當隊各艦宛電報ニハ  
「ハホ」ノ指定ヲ要セス

○電話架設

四谷 三〇三五番 海軍司令部副官  
海軍大佐 佐藤 巳之吉

豐多摩郡大久保  
百人町一九四

四谷 六〇四三番 海軍省醫務局局員  
海軍軍醫大佐 高杉 新一郎  
牛込區余丁町三八

豫備役海軍中尉從七位那須博一月二十六日死去セ

豫備役海軍軍醫大尉正七位關矢喜術二月四日吳海  
軍病院ニ於テ死去セリ

○艦船所在

印ハハカ  
指定ヲ要セス

○二月六日午前十時調

【密須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑、金剛

△

△沖風、澤風、峯風、矢風、△沙風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

△潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、△潛波一三、潛波一一、潛波一二

△神風、夕立、夕暮、初霜、如月、響洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

△阿武隈、驅一一

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【大湊】

潛呂三二

【吳】

明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝利、韓崎、矢矧、比叡

△谷風、菊、江風、葵

△潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、△潛波五三、潛波五一

△潛呂一四、潛呂一六、潛呂一五、△潛呂一八、潛呂一九、潛呂一七、潛呂五二、潛伊五二、潛伊五一、潛呂六三、潛呂二七

磯波、綾波、水無月、長月、菊月

【神戶】

野間、能登呂、室戶、大和、野島

【藤生】

△迅鯨、△潛呂五九、△潛呂五五、△潛呂五六、△潛呂五八

【由宇沖】

△天龍、△長鯨、△驅一八、△驅一六、△驅一〇、△驅一二、△藤萩、△瀧、△高、△驅六、△驅二、△驅八、△呂潛六〇、△潛呂六一、△潛呂六二、△潛呂二八、△潛呂二六

【德山】

△神威

【三田尻】

△陸奥、△山城、△日向、△鬼怒、△大井、△霧島、△名取、△長良、△由良、△川内、△五十鈴、△常磐、△若宮

【秋風】

△波風、△沼風、△驅一、△野風、△驅七、△驅三、△驅五、△驅九、△太刀風、△帆風、△羽風、△掃一、△掃二、△掃三

【關宮】

△關宮

【佐伯】

△攝津

【舞鶴】

△吾妻、△春日

【山風】

△海風、△檜、△榎

【關東】

△關東

【佐世保】

△最上、△宇治、△龍田、△利根

〔桃〕柳、檜、樅、〔樺〕樺、椴、梨、竹、〔梅〕  
 栗、柿、榆、〔迷〕蓮、蓼、〔厥〕菱、  
 葦、菖、〔椿〕椿、〔榎〕榎、〔桑〕桑、〔驅〕驅一七、  
 驅四、  
 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、〔潜〕潜呂四、  
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四  
 掃四、〔朝〕朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪  
 敷島、襟裳、知床、劍崎  
 〔馬〕公 駒橋  
 〔榎〕榎、松、杉、柏  
 〔潜〕潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三二  
 早朝  
 〔紅〕紅頭喚 夕張  
 〔鎮〕鎮海 〔楓〕楓、梅、桂、楠  
 〔潜〕潜呂二三  
 〔旅〕旅順 〔桐〕桐、樟、櫻、橘  
 〔群〕群島 〔淀〕淀  
 〔亞〕亞港 〔大〕大泊  
 〔上〕上海 〔對〕對馬、嵯峨、伏見、安宅  
 〔南〕南京 〔鳥〕鳥羽、 〔岡〕岡田  
 〔漢〕漢口 〔勢〕勢多  
 〔長〕長沙 〔俣〕俣津  
 〔宜〕宜昌 〔比〕比良  
 〔重〕重慶 〔堅〕堅田

〔ヤ〕ヤムザ 鳴戸  
 〔五〕五ノカイモルト 〔下〕下浅間、出雲、八雲

〔航海中〕

〔隱〕隱戸 (二月二十四日大湊發「タラカン」へ)  
 〔尻〕尻矢 (二月二十七日「タラカン」發「大湊」へ)  
 〔石〕石廊 (二月二十八日「タラカン」發「徳山」へ)  
 膠州 (二月徳山發「大湊」へ)  
 佐多 (三日「セブ」發「徳山」へ)  
 鶴見 (三日「タラカン」發「マニラ」へ)  
 青島 (三日横須賀發「吳」へ)  
 富士 (四日吳發「鎮海」へ)  
 〔浦〕浦波 (五日吳發「佐伯」へ)  
 〔時〕時津風、磯風、天津風、濱風、〔潜〕潜呂二〇、潜呂二一  
 (五日大湊發「厚岸」へ)  
 潜呂五四 (五日藤生發「吳」へ)

(部内限三頁)

0142



# 海軍公報

第三千六百七十八號

海軍大臣官房

大正十四年二月七日(木) 第...

## ○令 達

官房第三四三號

大正十四年度ニ於テ採用スヘキ海軍砲術學校練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日

海軍大臣 財部 彪

| 所管 種別  | 砲術練習生 |     |        |
|--------|-------|-----|--------|
|        | 高等科   | 普通科 | 測的術練習生 |
| 横須賀鎮守府 | 一三〇   | 二〇〇 | 五〇     |
| 吳鎮守府   | 一一〇   | 二五〇 | 四〇     |
| 佐世保鎮守府 | 一三〇   | 二五〇 | 四〇     |
| 合計     | 三八〇   | 七〇〇 | 一三〇    |

官房第三四三號ノ二

海軍公報 第三千六百七十八號 大正十四年三月七日

大正十四年度ニ於テ採用スヘキ海軍水雷學校練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日

海軍大臣 財部 彪

| 所管 種別  | 高等科水雷砲術練習生 |     | 普通科水雷砲術練習生 |     | 高等科電氣砲術練習生 |    | 普通科電氣砲術練習生 |    |
|--------|------------|-----|------------|-----|------------|----|------------|----|
|        | 横須賀鎮守府     | 八〇  | 二五〇        | 一七〇 | 三〇〇        | 一〇 | 一〇         | 一〇 |
| 吳鎮守府   | 八〇         | 二五〇 | 一七〇        | 三〇〇 | 一〇         | 一〇 | 一〇         | 一〇 |
| 佐世保鎮守府 | 一一〇        | 二五〇 | 一七〇        | 三〇〇 | 一〇         | 一〇 | 一〇         | 一〇 |
| 合計     | 二七〇        | 七五〇 | 四六〇        | 九〇〇 | 三〇         | 三〇 | 三〇         | 三〇 |

官房第三四三號ノ三

大正十四年度ニ於テ採用スヘキ海軍機關學校練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

二二七

0143

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

| 所      | 種別        |              |              |              |              | 合 計 |
|--------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|
|        | 高等科普通科練習生 | 高等科普通科特等科練習生 | 高等科普通科特等科練習生 | 高等科普通科特等科練習生 | 高等科普通科特等科練習生 |     |
| 横須賀鎮守府 | 五二七       | 二〇           | 三            | 四            | 六〇           | 一〇〇 |
| 吳鎮守府   | 二〇        | 三            | 三            | 三            | 六            | 二一〇 |
| 佐世保鎮守府 | 三〇        | 七            | 三            | 三            | 四三           | 一八〇 |
| 合 計    | 五七七       | 三〇           | 九            | 一〇           | 六二六          | 三九〇 |

官房第三四三號ノ四  
大正十四年度ニ於テ採用スヘキ海軍經理學校練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

| 所      | 種別     | 練習生 | 練習生 | 練習生 | 練習生 | 合 計 |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 横須賀鎮守府 | 高等科練習生 | 二〇  | 三   | 三   | 三   | 四〇  |

官房第三四三號ノ五  
大正十四年度ニ於テ採用スヘキ運用補練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

| 所      | 種別     | 練習生 | 練習生 | 練習生 | 練習生 | 合 計 |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 横須賀鎮守府 | 高等科練習生 | 六五  | 五五  | 六〇  | 一八〇 | 一八〇 |

官房第三四三號ノ六  
大正十四年度ニ於テ採用スヘキ信號術練習生及掌厨術練習生ノ員數左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

海軍公報 第三六七八號 大正十四年二月七日

| 所管     | 種別 | 高等科信 |     | 普通科信 |     | 掌厨術練習生 |
|--------|----|------|-----|------|-----|--------|
|        |    | 高等科信 | 練習生 | 普通科信 | 練習生 |        |
| 横須賀鎮守府 |    | 二二   | 八〇  | 五〇   | 三五  |        |
| 吳鎮守府   |    | 一八   | 六〇  | 四〇   | 三五  |        |
| 佐世保鎮守府 |    | 二三   | 六〇  | 四〇   | 三〇  |        |
| 合計     |    | 六四   | 二〇〇 | 一三〇  | 一〇〇 |        |

官房第三四三號ノ七  
大正十四年度ニ於テ採用スヘキ看護術練習生ノ員數ヲ左ノ通定ム

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

| 所管     | 種別 | 兵科練習生 |     | 機關科練習生 |     |
|--------|----|-------|-----|--------|-----|
|        |    | 兵科練習生 | 練習生 | 機關科練習生 | 練習生 |
| 横須賀鎮守府 |    | 二〇    | 一五  | 四五     | 三五  |
| 吳鎮守府   |    | 三〇    | 一五  | 五五     | 三五  |
| 佐世保鎮守府 |    | 三〇    | 一五  | 五五     | 三五  |
| 合計     |    | 八〇    | 四五  | 一五五    | 一〇五 |

官房第三四三號ノ八  
大正十四年度ニ於テ採用スヘキ特修科軍樂術練習生ノ員數ヲ十五名ト定ム

大正十四年一月三十一日  
海軍大臣 財部 彪

0145



備考

- 一、高等科特修兵ニ代フルニ普通科特修兵ヲ以テスルコトヲ得
- 二、掌機兵ト掌電機兵トハ彼此増減スルコトヲ得
- 三、掌電信兵ヲ除キ特修兵ノ適合者採用員數ニ滿タサルトキハ各科種別毎ニ無章者ヲ以テ補フコトヲ得

○通牒

官房第四一〇號

大正十四年二月七日

海軍省副官 寺島健

關係各部御中

氣象無線通報取扱規程改正ノ件

氣象無線通報取扱規程中今般別紙ノ通改正ノ旨海洋氣象象ヲリ通報有之候  
右通牒ス

追テ氣象無線通報規程ハ不日改版發布セラルヘキ日  
本水路誌附録中ニ掲記ノ豫定ニ有之候

(別紙一葉添)

○雜款

○電語架設

四谷 四七〇七番

海軍經理學校長

永安晋次郎

豊多摩郡大久保町  
東大久保四十二

海軍大佐從五位勳四等椎名直吉二月六日卒去、來  
九日午後二時廿三時迄東京市牛込區岩戸町南藏  
院(電車牛込肴町若北町下車)ニ於テ告別式執  
行

海軍省副官 寺島健  
大正十四年二月七日

氣象無線通報規程  
不日改版發布  
本水路誌附録中ニ掲記ノ豫定ニ有之候

○艦船所在

印(二)ホニ  
相定ヲ集セズ

○二月七日午前十時調

【廣須賀】 加賀、千早、筑摩、棲名、滿州、北上、

磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑、

金剛、

【沖風】 沖風、澤風、峯風、矢風、口沙風、灘風、

島風、夕風、浦風、三日月、白霧、驅一五、

潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、

潛波三、潛波一、潛波二二

【神風】 夕立、夕暮、初霜、如月、響

洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

【浦賀】 阿武隈、驅一一

【大湊】 潛波三、

【厚岸】 時津風、磯風、天津風、濱風

【吳】 明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、

伊勢、勝力、韓崎、矢矧、比叡、

【谷風】 菊、江風、葵

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、

潛波七、潛波八、潛波五三、潛波五二、

潛波一四、潛波一六、潛波一五、

潛波一八、潛波一九、潛波一七、

潛波五二、潛波五二、潛波五二、

【神戶】

神通 潛波六三、潛波二七

磯波、綾波、水無月、長月、菊月

野間、能登呂、室戸、大和、野島

【江田島】 青島

【藤生】 迅鯨

潛波五九、潛波五七、

潛波五五、潛波五四、

【由宇沖】 天龍、長鯨

驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二、

驅一、驅二、驅八

【三田尻】 神威

口陸奥、山城、日向、

口霧島、口名取、長良、由良、川内、

口五十鈴、常磐、若宮

口波風、沼風、驅一、野風、

驅五、驅九、口太刀風、帆風、

驅三、

秋風 驅一、掃二、掃三

【別府】 浦波

【佐伯】 攝津

海軍公報 第三六七八號 大正十四年二月七日

一三一

0147

【舞鶴】吾妻、春日  
 【糠浦】關東  
 【佐世保】最上、宇治、龍田、利根  
 【馬公】駒橋  
 【臺東】夕張  
 【鎮海】富士  
 【旅順】富士  
 【亞細亞】大泊  
 【上海】對馬、嵯峨、伏見、安宅  
 【南京】隅田

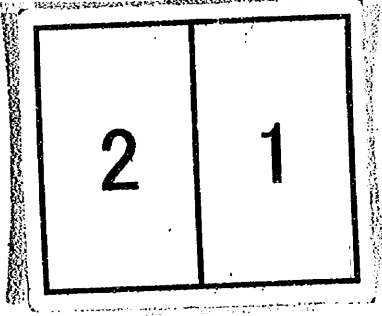
□山風、海風、檜、榎  
 □桃、柳、檜、樅、□榎、樅、梨、竹、□梅、栗、柿、榆、□蓬、蓮、菱、□蕨、菱、葦、董、□椿、樺、榎、桑、驅一七、驅四  
 潛呂一、潛呂二、潛呂三、潛呂四、潛呂五、潛呂三、潛呂二、潛呂四、□朝風、潮、子日、春風、若葉、初雪  
 敷島、襟裳、知床、劍崎  
 □榎、松、杉、柏  
 □潛呂二九、潛呂三〇、潛呂三二  
 □潛呂三三

【漢口】勢多  
 【長沙】保津  
 【宜昌】比良  
 【重慶】堅田  
 【タラカン】隱戸  
 【エヌカイモント】淺間、出雲、八雲

【航海中】  
 尻矢（一月二十七日「タラカン」發—大湊へ）  
 石廊（一月二十八日「タラカン」發—徳山へ）  
 膠州（二日徳山發—大湊へ）  
 佐多（三日「セブ」發—徳山へ）  
 鶴見（三日「タラカン」發—「マニラ」へ）  
 鳥羽（六日南京發—漢口へ）  
 早朝（六日馬公發—「タラカン」へ）  
 鳴戸（六日「マニラ」發—徳山へ）

（別表一枚、部内限ナシ）

## 分割撮影ターゲット

|                      |  |
|----------------------|--|
| 分割した部分の撮影順序          |  |
| 分割撮影した理由             | A 3版以上のため  |
| 文書等名                 | 気象無線通報取扱規程改正   |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 |  |

氣象無線通報取扱規程改正 大正十四年一月一日ヨリ實施

- 一、第六條第七條(三頁)ヲ次ノ如ク變更ス  
 改正ノ要點  
 (一)地名ノ符合ヲ入レ總字數ヲ百二十字ニシタルコト  
 (二)電報未済ノ箇所アルトキハ別ノ箇所ヲ以テ之ヲ補充スルコト  
 (三)從來規定箇所ノ中秋田ヲ新潟ニ變更シタルコト

第六條 實況氣象報ハ午前六時正午及午後六時ニ觀測セル左記二十箇所ノ氣象實況ヲ左ノ順ニ依リ報ジ其末尾ニ高低壓部ニ關スル記事ヲ加ヘシモノヲ云フ各頭書ノ英字ハ其地名ヲ示ス符號ナリ  
 (總字數百二十字)

- A 石垣島 B 那覇 C 名瀬 D 宮崎 E 潮岬  
 F 長崎 G 下關 H 銚子 I 八丈 J 父島  
 K 福井 L 新潟 M 札幌 N 根室 O 木浦  
 P 城津 Q 旅順 R 長春 S 青島 T 上海

第六條ノ二 前項ノ箇所ヨリノ氣象電報未着ノ時ハ之ヲ省キ左ノ箇所ノ氣象報ヲ末尾高低壓部實況ノ前ニ追加ス  
 U 臺北 V 濱松 W 青森 X 釜山 Y ラサ島(北緯三三度二八分 東經一〇四度二八分)  
 Z 眞岡(北緯四七度三分 東經一四七度三分)  
 但午前六時ノ分ニラサ島及眞岡ヲ挿入セントキハ前日午後六時ノ觀測ヲ報ズルモノト知ルベシ

第七條 實況氣象報中各所ノ觀測ハ一個所毎ニ英字母四字數字一字ヲ用ヒ左ノ式ニヨリ記ス  
 地名 ○ 氣壓 ○ 風力天氣 ○ 風向

二、第四表高低壓部位置(二頁)ヲ次ノ如ク變更ス  
 改正ノ要點 經度ヲ六度宛東ニ移シタルコト

|   |         |         |         |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 東 | A 二〇一二三 | B 二二一二四 | C 二四一二六 | D 二六一二八 | E 二八一二〇 | F 三〇一二三 |
| 同 | G 三二一二四 | H 三四一二六 | I 三六一二八 | J 三八一二〇 | K 四〇一二三 | L 四二一二五 |

|   |         |         |         |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 同 | M 一五一一三 | N 一六一一四 | P 一八一一六 | Q 二〇一二〇 | R 二二一二三 | S 二四一二五 |
| 同 | T 一六一一四 | U 一八一一六 | V 二〇一二〇 | W 二二一二三 | X 二四一二五 | Y 二六一二七 |
| 同 | Z 二七一二八 |         |         |         |         |         |

三、第九表低氣壓進行方向(一七頁)ヲ次ノ如ク改正ス  
 改正ノ要點  
 一、U、V、Wノ記事ヲ廢シ其以下ノ符號ヲ繰リ上ゲシコト  
 二、新ニ三ツノ記事ヲ作りソレニX、Y、Zノ符號ヲ附シタルコト

|   |                |
|---|----------------|
| N | 北東 但シ東ニ轉向セントス  |
| P | 北東 但シ北ニ轉向セントス  |
| Q | 東 但シ北東ニ轉向セントス  |
| R | 西 但シ北ニ轉向セントス   |
| S | 北西 但シ北東ニ轉向セントス |
| T | 北西 但シ西ニ轉向セントス  |
| U | 北 但シ北東ニ轉向セントス  |
| V | 北 但シ北西ニ轉向セントス  |
| W | 滯留又ハ進行方向ヲ示サズ   |
| X | 大袞東ノ方ニ進行ス      |
| Y | 大袞西ノ方ニ進行ス      |
| Z | 大袞北ノ方ニ進行ス      |
| O | 不明             |

四、第十一表低壓部第二記事(一九頁)ノ末尾ニ二符號ヲ追加ス

- A 此低壓部ハ颱風ナリ  
 B 此低壓部ハ發達シテ颱風トナラン

0149  
0150

|            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 同          | 同          | 同          |
| Z<br>一英一六〇 | T<br>一英一四〇 | M<br>一英一三〇 |
|            | U<br>一英一五〇 | N<br>一英一二〇 |
|            | V<br>一英一五五 | P<br>一英一四〇 |
|            | W<br>一英一四〇 | Q<br>一英一四〇 |
|            | X<br>一英一五〇 | R<br>一英一四〇 |
|            | Y<br>一英一三〇 | S<br>一英一四〇 |

三、第九表低気圧進行方向（一七頁）ヲ次ノ如ク改正ス

改正ノ要點  
一、U、Y、Zノ記号ヲ廢シ其以下ノ符號ヲ繰リ上ゲシコト  
二、新ニ三ツノ記号ヲ作りソレニX、Y、Zノ符號ヲ附シタルコト

|    |           |           |           |              |                  |                  |                  |                  |                  |                 |                  |                  |
|----|-----------|-----------|-----------|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| O  | Z         | Y         | X         | W            | V                | U                | T                | S                | R                | Q               | P                | N                |
| 不明 | 大英北ノ方ニ進行ス | 大英西ノ方ニ進行ス | 大英東ノ方ニ進行ス | 滞留又ハ進行方向ヲ示サズ | 北<br>但シ北西ニ轉向セントス | 北<br>但シ北東ニ轉向セントス | 北<br>但シ北東ニ轉向セントス | 北<br>但シ北東ニ轉向セントス | 東<br>但シ北東ニ轉向セントス | 西<br>但シ北ニ轉向セントス | 北東<br>但シ北ニ轉向セントス | 北東<br>但シ東ニ轉向セントス |

四、第十一表低気圧部第一記事（一九頁）ノ末尾ニ二符號ヲ追加ス

|              |        |                   |                 |              |                 |                 |                |                  |            |
|--------------|--------|-------------------|-----------------|--------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|------------|
| J            | I      | H                 | G               | F            | E               | D               | C              | B                | A          |
| 殆ド固定セル低気圧部ナリ | 低気圧部ナリ | 此低気圧部ハ發達シテ低気圧トナラン | 此低気圧部ハ副低気圧ニ發達セン | 此低気圧部ハ副低気圧ナリ | 此低気圧部ハ猛烈ナル低気圧ナリ | 此低気圧部ハ猛烈ナル低気圧ナリ | 此低気圧部ハ猛烈ナル颶風ナリ | 此低気圧部ハ發達シテ颶風トナラン | 此低気圧部ハ颶風ナリ |

五、第十二表低気圧部第二記事（二〇頁）ヲ左ノ如ク改正ス

改正ノ要點  
一、二符號ヲ増加シタルコト  
二、〇以下ノ符號ヲ順次繰上ゲシコト

|                     |                      |                      |                            |                       |                               |                                    |                                    |                                    |                 |                 |                                    |                                    |                                    |
|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| P                   | O                    | N                    | M                          | L                     | K                             | J                                  | I                                  | H                                  | G               | F               | E                                  | D                                  | C                                  |
| 中心ヨリ五〇〇軒以内風力八以上     | 記スベキ事ナシ              | 中心ヨリ四〇〇軒以内風力八以上      | 中心ヨリ三〇〇軒以内風力八以上            | 風雪區域廣シ                | 風雨區域廣シ                        | 勢力微弱ナリ                             | 中心附近ノ模様判然セズ                        | 中心附近風雪烈シ                           | 中心附近風雨烈シ        | 急ニ衰弱スル見込        | 急ニ發達スル見込                           | 漸次衰弱スル見込                           | 漸次發達スル見込                           |
| Z                   | Y                    | X                    | W                          | V                     | U                             | T                                  | S                                  | R                                  | Q               |                 |                                    |                                    |                                    |
| 此低気圧ハ材料不足ノ爲其ノ位置確ナラズ | 此低気圧ハ東海ニ入ルニ及ビ急ニ發達スベシ | 此低気圧ハ東海ニ入ルニ及ビ急ニ發達スベシ | 此低気圧ハ日本海ニ入ルニ及ビ急ニ發達シ風雪ヲ伴フベシ | 此低気圧ハ日本海ニ入ルニ及ビ急ニ發達スベシ | 此低気圧通過後支那東海ニ北ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 中心ヨリ六〇〇軒以内風力八以上 | 中心ヨリ七〇〇軒以内風力八以上 | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ | 此低気圧通過後日本海及北海道附近北西ノ信風（モンsoon）強カルベシ |

六、第二二頁第二三頁ノ氣象無線電報ノ例ハ取り消ス

# 海軍公報

第三千六百七十九號

海軍大臣官房

大正十四年二月九日(月)

## ○通牒

官房第四二五號

大正丁三官房九七九号

軍艦利根ト内地郵便局トノ間ニ開始致居リ候閉囊交換ハ今般廢止セラレ候

大正十四年二月九日

海軍省副官 寺島 健

大校第二四號

大正十四年二月九日

海軍 大學 校

部内各部御中

兵術精隨實費類與ニ付豫約ノ件

本校ニ於テ今回「兵術精隨」(第二版)印刷ノ豫定ニ就テハ要望ノ向ニ實費ヲ以テ類與可致候條左記御承知ノ上豫約部數各部ニテ取纏本校副官宛御申越相成度右通知云

## 記

- 一、本書ハ八代大將(當時大佐)カ英「ハルト」氏ノ著「Recollections on the Art of War」(兵術回想錄)ヲ摘譯抄録シタルモノナリ
- 一、豫定 價格 一部金五拾錢位ノ見込
- 一、配布豫定期日 六月上旬刷成配付シ得ル見込
- 一、申込 期限 三月十日迄トス
- 一、申込書ニハ要望者ノ官氏名並部數記載ノコト

大正十四年二月九日

龜川海軍病院

各艦團部隊廳軍醫科藥劑科士官殿

醫藥學雜誌ニ關スル件

本院開廳早々ニテ圖書雜誌類ノ所藏甚タ少ク殊ニ既刊雜誌類皆無ノ爲文獻涉獵上甚タ困難致居候間諸官御所藏雜誌中御都合相付キ候モノ有之候ハハ種類、新舊、缺號ノ如何ニ不拘御寄贈ヲ仰度

海軍公報 第三六七九號

大正十四年二月九日

一一三

0151

右依頼ス

追テ御送附ノ節ハ送料先拂ノコトニ御取計相成度

○辭令

海軍省事務ヲ囑託ス 杉田 正  
但報酬月額百五十拾圓ヲ給シ部内限り委任官待遇トス

北樺太へ出張ヲ命ス(以上ニハ海軍省)  
海軍法務官兼司法事務官 尾畑 義郎

海軍大學校ニ於ケル刑法教授ヲ囑託ス(ハ海軍省)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二驅逐隊司令ハ二月二十七日司令驅逐艦ヲ沖風ヨリ矢風ニ變更セリ

○特務艦間官行動豫定

地名 着 發  
三田 尻 二月七日 二月七日  
由 宇 二月七日 十二月

|      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 吳    | 大    | 由    | 三    | 別    | 由    | 吳    | 德    |
| 山    | 府    | 府    | 府    | 府    | 府    | 山    | 山    |
| 二十一日 | 十九日  | 二十四日 | 三月一日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 |
| 二十三日 | 二十三日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 | 三月六日 |

○郵便物發送先

第一潜水戰隊司令部及込崎、第六潜水隊(呂五九、呂五八、呂五七)、第四潜水隊(呂五五、呂五四、呂五六)宛

二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 藤 生  
同 二十日迄ニ 同 藤 生  
同 二十六日迄ニ 同 吳 生  
其ノ後ハ 藤 生

特務艦間官宛

二月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 由 宇  
同 十七日迄ニ 同 吳 港  
同 二十二日迄ニ 同 大阪 港  
同 二十八日迄ニ 同 由 宇  
三月五日迄ニ 同 三田 府  
同 九日迄ニ 同 別 府



同 十五 日迄ニ 同  
 同 二十 日迄ニ 同  
 其ノ後ハ 徳山へ 徳山以後ハ 聯合艦隊司令部ニ 同シ

特務艦野島宛

二月 十 日迄ニ 到達見込ノモノハ 吳  
 同 二十二 日迄ニ 同 旅 順  
 同 二十八 日迄ニ 同 佐 世 保  
 三月 八 日迄ニ 同 吳 世 保  
 同 十 日迄ニ 同 佐 世 保  
 同 十三 日迄ニ 同 西 戸 崎  
 同 二十 日迄ニ 同 大 須 賀  
 同 二十七 日迄ニ 同 大 須 賀  
 四月 一 日迄ニ 同 大 須 賀  
 其ノ後ハ 吳 大 須 賀

特務艦高崎宛

二月 十六 日迄ニ 到達見込ノモノハ 吳  
 其ノ後ハ 横 須 賀

海軍公報 第三六七九號 大正十四年二月九日

一一五

0153

○艦船所在

△印 △ハ △ホ △セ △ス  
指定ヲ要セス

○二月九日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、阿蘇、扶桑、金剛

△矢風、沖風、澤風、峯風、△汐風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

△潛波一、△潛波二、△潛波九、△潛波一〇、△潛波一三、△潛波一四、△潛波一五

△神風、夕立、夕暮、初霜、如月、櫻洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一一、膠州

【大湊】

△明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝力、韓崎、矢矧、比叡、△迅鯨、△長鯨

△谷風、菊、江風、葵、△潛波三、△潛波四、△潛波五、△潛波六、△潛波七、△潛波八、△潛波五三、△潛波五一、△潛波一四、△潛波一六、△潛波一五、△潛波一八、△潛波一九、△潛波一七、△潛波五二、△潛波五三、△潛波六三、△潛波五二、△潛波五二、△潛波六三、△潛波五二、△潛波六三

△潛波五九、△潛波五七、△潛波五八、△潛波五五、△潛波五四、△潛波五六、△潛波六〇、△潛波六一、△潛波六二、△潛波二八、△潛波二六、△潛波二七、△潛波五一

海軍公報 第三六七九號 大正十四年二月九日

二二七

0154

【桃】柳、檜、樅、榿、樺、椴、梨、竹、櫻、  
 栗、柿、楡、柿、蓮、蓮、菱、萩、蕨、菱、  
 葦、菫、櫻、櫻、櫻、櫻、桑、驅一七、  
 驅四、  
 潜呂一、潜呂二、潜呂三五、潜呂四、  
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四、  
 掃四、朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪、  
 敷島、櫻裳、知床、富士、  
 【馬】公、潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一、  
 【鎮】海、楓、梅、桂、楠、  
 潜呂二三、  
 劍崎、  
 【旅】順、桐、樟、櫻、橘、  
 【南洋羣島】淀、  
 【亞】港、大泊、  
 【上】海、對馬、嵯峨、伏見、  
 【南】京、岡田、  
 【漢】口、勢多、  
 【長】沙、保津、  
 【宜】昌、比良、  
 【重】慶、壘田、  
 【マニラ】、鶴見、  
 【タラカン】、隱戸、  
 【バンクーバー】、淺間、出雲、八雲

【航海中】  
 尻矢 (一月二十七日「タラカン」發—大湊へ)  
 石廊 (一月二十八日「タラカン」發—徳山へ)  
 佐多 (三日「セブ」發—徳山へ)  
 烏羽 (六日南京發—漢口へ)  
 早朝 (六日馬公發—「タラカン」へ)  
 鳴戸 (六日「マニラ」發—徳山へ)  
 駒橋 (七日馬公發—高雄へ)  
 安宅 (八日上海發—佐世保へ)  
 攝津 (八日佐伯發)  
 青島 (八日江田島發—西戸崎へ)  
 夕張 (九日新港發—花蓮港へ)  
 樺、松、杉、柏 (九日枋葉發—馬公へ)  
 時津風、磯風、天津風、濱風、潜呂三〇、潜呂三一  
 (九日花咲發—單冠灣へ)

(部内限二頁)

0155

# 海軍公報

第三千六百八十號

大正十四年二月十日(火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

經豫第六二號

大正十四年二月十日

海軍省經理局

各支田官、關係官吏殿

大正十三年度一般會計俸給豫算ニ關スル件

大正十三年度一般會計俸給豫算ハ極メテ逼迫セル狀態ニ有之候ニ就テハ年度末ニ於ケル經費ノ見積ヲ慎重ニシ剩餘見込ノ金額ハ振替納受又ハ返納等ノ手續ニ依リ急速且正確ニ之ヲ處理シ出納事務ヲ圓滑遺憾ナカラシムル様特ニ御留意相成様致度  
右申進ス

追テ來ル二月分ノ仕拂高表ハ右趣旨ニ依リ調製ノ上可成至急御報告相成度爲念申添候

## ○辭令

○大正十四年二月十日

任海軍書記

海軍屬勳八等

山口 莊

給六級俸

任海軍屬

海軍書記勳八等

田草川 應道

給四級俸

任海軍書記

神保 利衛

給月俸六拾圓

任海軍書記

田中 吉次郎

給月俸五拾貳圓

任海軍錄事

石井 靜一

給十級俸

任海軍技手

金子 又三郎

給五級俸

任海軍技手

武田 節三

給月俸七拾圓

任海軍技手

石川 重吉

給七級俸

海軍公報 第三六八〇號

大正十四年二月十日

二二九

0156

| <p>○監督官異動</p> | <p>○雜款</p>           | <p>海軍艦政本部附ヲ命ス 海軍書記 山口 莊<br/>         海軍省經理局附ヲ命ス 海軍屬 田草川 應道<br/>         海軍書記 神保 利衛<br/>         横須賀海軍軍需部附ヲ命ス 同 田中 吉次郎<br/>         佐世保海軍艦船部附ヲ命ス 海軍錄事 石井 静一<br/>         横須賀鎮守府軍法會議附ヲ命ス 海軍技手 金子 又三郎<br/>         海軍技術研究所附ヲ命ス 同 武田 節三<br/>         (各通) 同 石川 重吉<br/>         海軍艦政本部附ヲ命ス 海軍省事務屬託 本間 右京<br/>         北樺太へ出張ヲ命ス(以上海軍省) 海軍技師 吉野 常藏<br/>         第一部第三課附ヲ命ス(海軍艦政本部) 海軍造兵少佐 稻田 虎彦<br/>         第一部第三課勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)</p> |          |   |             |     |       |              |     |                   |         |     |                      |          |
|---------------|----------------------|--|----------|---|-------------|-----|-------|--------------|-----|-------------------|---------|-----|----------------------|----------|
| <p>海軍大...</p> | <p>...</p>           | <table border="1"> <thead> <tr> <th>出張<br/>地方</th> <th>職</th> <th>官<br/>氏<br/>名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 阪</td> <td>造兵監督官</td> <td>海軍技師 藤崎 康勝 實</td> </tr> <tr> <td>大 阪</td> <td>海軍艦政本部附兼<br/>造兵監督官</td> <td>同 吉野 常藏</td> </tr> <tr> <td>東 京</td> <td>海軍火藥廠爆藥部<br/>部員兼造兵監督官</td> <td>同 三宅 吉之助</td> </tr> </tbody> </table>   | 出張<br>地方 | 職 | 官<br>氏<br>名 | 大 阪 | 造兵監督官 | 海軍技師 藤崎 康勝 實 | 大 阪 | 海軍艦政本部附兼<br>造兵監督官 | 同 吉野 常藏 | 東 京 | 海軍火藥廠爆藥部<br>部員兼造兵監督官 | 同 三宅 吉之助 |
| 出張<br>地方      | 職                    | 官<br>氏<br>名  |          |   |             |     |       |              |     |                   |         |     |                      |          |
| 大 阪           | 造兵監督官                | 海軍技師 藤崎 康勝 實   |          |   |             |     |       |              |     |                   |         |     |                      |          |
| 大 阪           | 海軍艦政本部附兼<br>造兵監督官    | 同 吉野 常藏  |          |   |             |     |       |              |     |                   |         |     |                      |          |
| 東 京           | 海軍火藥廠爆藥部<br>部員兼造兵監督官 | 同 三宅 吉之助   |          |   |             |     |       |              |     |                   |         |     |                      |          |

艦船所在

印(ハ)ホ(ノ)  
推定(ア)ヒス

○二月十日午前十時調

【精須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、扶桑、金剛

▽矢風、沖風、澤風、峯風、▽汐風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白鷺、驅一五

▽潛波一、▽潛波二、▽潛波九、▽潛波一〇、▽潛波一三、▽潛波一四、▽潛波一五

▽神風、夕立、夕暮、初霜、如月、櫻洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【沼津】

阿蘇

【大湊】

▽潛波二二

▽明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、勝利、韓崎、矢矧、比叡、▽迅鯨

【吳】

▽長鯨

▽谷風、菊、江風、葵、▽潛波三、▽潛波四、▽潛波五、▽潛波六、▽潛波七、▽潛波八、▽潛波五三、▽潛波五一、▽潛波一四、▽潛波一六、▽潛波一五、▽潛波一八、▽潛波一九、▽潛波一七、▽潛波五二、▽潛波五二、▽潛波六三、▽潛波五九、▽潛波五七、▽潛波五八、

▽潛波五五、▽潛波五四、▽潛波五六、▽潛波六〇、▽潛波六一、▽潛波六二、▽潛波二八、▽潛波二六、▽潛波二七、▽潛波五一

▽浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、野間、能登呂、室戸、大和、野島、攝津

【神戸】

神通、▽潛波三一、▽潛波六四、▽潛波一一

【由宇沖】

▽天龍、▽五十鈴、▽驅一八、▽驅一六、▽驅一〇、▽驅一二、▽驅一、▽驅二、▽驅三、▽驅四、▽驅五、▽驅六、▽驅七、▽驅八、▽驅九、▽驅一〇、▽驅一一、▽驅一二、▽驅一三、▽驅一四、▽驅一五、▽驅一六、▽驅一七、▽驅一八、▽驅一九、▽驅二〇、▽驅二一、▽驅二二、▽驅二三、▽驅二四、▽驅二五、▽驅二六、▽驅二七、▽驅二八、▽驅二九、▽驅三〇、▽驅三一、▽驅三二、▽驅三三、▽驅三四、▽驅三五、▽驅三六、▽驅三七、▽驅三八、▽驅三九、▽驅四〇、▽驅四一、▽驅四二、▽驅四三、▽驅四四、▽驅四五、▽驅四六、▽驅四七、▽驅四八、▽驅四九、▽驅五〇、▽驅五一、▽驅五二、▽驅五三、▽驅五四、▽驅五五、▽驅五六、▽驅五七、▽驅五八、▽驅五九、▽驅六〇、▽驅六一、▽驅六二、▽驅六三、▽驅六四、▽驅六五、▽驅六六、▽驅六七、▽驅六八、▽驅六九、▽驅七〇、▽驅七一、▽驅七二、▽驅七三、▽驅七四、▽驅七五、▽驅七六、▽驅七七、▽驅七八、▽驅七九、▽驅八〇、▽驅八一、▽驅八二、▽驅八三、▽驅八四、▽驅八五、▽驅八六、▽驅八七、▽驅八八、▽驅八九、▽驅九〇、▽驅九一、▽驅九二、▽驅九三、▽驅九四、▽驅九五、▽驅九六、▽驅九七、▽驅九八、▽驅九九、▽驅一〇〇

【德山】

▽掃二、▽掃三、▽鬼怒、大井、▽磯島、▽名取、長良、由良、川内、常磐

【三田尻】

▽常磐

【舞鶴】

▽吾妻、▽春日、▽山風、海風、檜、榎、神威

【糠浦】

▽御東、▽最上、宇治、龍田、利根、安宅、▽桃、柳、檜、櫻、▽榎、樅、梨、竹、▽梅、栗、柿、楡、▽蓬、蓮、麥、▽豚、菱

海軍公報 第三六八〇號 大正十四年二月十日

一三一

0158

葦、葦、 $\square$ 椿、 $\blacktriangle$ 櫻、 $\blacktriangle$ 榎、 $\blacktriangle$ 桑、 $\blacktriangle$ 驅一七、

驅四、

潜呂一、潜呂二、潜呂二五、 $\square$ 潜呂四、

潜呂五、潜呂三、潜呂二四

掃四、 $\square$ 朝風、潮、子日、春風、若葉、

初雪

敷島、襟裳、知床、富士

【西戸崎】青島

【馬公】 $\square$ 桐、松、杉、柏

$\square$ 潜呂二九、 $\square$ 潜呂三〇、 $\square$ 潜呂三一

【鎮海】 $\square$ 楓、梅、桂、楠

$\square$ 潜呂二三

劍崎

【旅順】 $\square$ 桐、榊、櫻、橘

【南洋群島】淀

【亞港】大泊

【上海】鯉蛾、伏見

【南京】岡田

【漢口】勢多

【長沙】保津

【宜昌】比良

【重慶】堅田

【マニラ】鶴見

【バンクーバー】下淺間、出雲、八雲

【航海中】

尻矢 (一月二十七日「タラカン」發—大湊へ)

石廊 (一月二十八日「タラカン」發—徳山へ)

佐多 (三日「セブ」發—徳山へ)

鳥羽 (六日南京發—漢口へ)

早朝 (六日馬公發—「タラカン」へ)

鳴戸 (六日「マニラ」發—徳山へ)

對馬 (九日上海發—三都澳へ)

駒橋 (九日高雄發—馬公へ)

隠戸 (九日「タラカン」發—「マニラ」へ)

陸奥山城、日向、若宮 (十日三田尻津發—宮島へ)

夕張 (十日花邊港發—蘇澳へ)

$\square$ 時津風、磯風、天津風、濱風、 $\square$ 潜呂三〇、 $\square$ 潜呂三一

(十日單冠灣發—大湊へ)

膠州 (十日大湊發—吳へ)

(部内限一頁)

# 海軍公報

第三千六百八十一號

大正十四年二月十二日(木)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第四一九號ノ二

大正十四年二月十二日

海軍大臣 財 部 彪

各鎮守府司令長官  
第一艦隊司令長官  
舞鶴要港部司令官

法務長會議ノ件

來ル三月二十日ヨリ五日間ノ豫定ヲ以テ法務長會議開  
催候條其ノ府、部法務長其ノ隊法務官ヲシテ前日迄ニ  
本省ニ參集セシムヘシ  
右訓令ス

## ○辭令

故海軍主計大尉正七位溝手辰一戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金貳百四拾圓ヲ賜フ

溝手 勝子

|  |        |
|--|--------|
| 故海軍兵曹長從七位勳六等川合和吉戰役ノ功ニ依リ<br>特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ  | 川合 みき  |
| 故海軍一等兵曹勳七等高橋茂藤太戰役ノ功ニ依リ特<br>ニ金貳百八拾圓ヲ賜フ  | 高橋 かね  |
| 故海軍一等兵曹勳八等遠藤義雄戰役ノ功ニ依リ特ニ<br>金參百七拾圓ヲ賜フ   | 遠藤 大助  |
| 故海軍一等機關兵曹勳七等平野孝次戰役ノ功ニ依リ<br>特ニ金五百圓ヲ賜フ   | 平野 うめ  |
| 故海軍一等機關兵曹勳七等森下鶴平戰役ノ功ニ依リ<br>特ニ金參百六拾圓ヲ賜フ | 森下 竹次郎 |
| 故海軍一等機關兵曹內田金輔戰役ノ功ニ依リ特ニ金<br>參百七拾圓ヲ賜フ    | 内田 はつ  |
| 故海軍二等機關兵曹八鍬菊松戰役ノ功ニ依リ特ニ金<br>參百貳拾五圓ヲ賜フ   | 八鍬 ロク  |

海軍公報 第三六八一號 大正十四年二月十二日

一三三

0160



故海軍三等兵曹勳八等相原六朗戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ 相原 倉吉

故海軍三等兵曹林芳平戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百貳拾五圓ヲ賜フ 林 幸作

故海軍三等兵曹萩原福光戰役ノ功ニ依リ特ニ金百圓ヲ賜フ 萩原 藤之助

故海軍三等機關兵曹勳八等松川忠太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金百圓ヲ賜フ 松川 常吉

故海軍三等機關兵曹浦田金太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百貳拾五圓ヲ賜フ 浦田 かん

故海軍三等機關兵曹山口孟夫戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ 山口 文吉

故海軍三等機關兵曹山本勝梅戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ 山本 梅太郎

故海軍三等機關兵曹佐々木秀治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百貳拾五圓ヲ賜フ 佐々木 金秋

柳澤 龜藏

故海軍三等機關兵曹柳澤常吉戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百五拾五圓ヲ賜フ 小關 フヨ

故海軍三等主計兵曹勳八等小關助治戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百圓ヲ賜フ 鈴木 徳次郎

故海軍一等水兵勳八等鈴木牧之助戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ 菊地 てい

故海軍一等水兵菊地貞次郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金六百圓ヲ賜フ 花澤 慶治

故海軍一等水兵花澤要戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ 霜田 春三

故海軍一等水兵霜田平三郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金四拾參圓ヲ賜フ 須藤 松五郎

故海軍一等機關兵勳八等須藤松之助戰役ノ功ニ依リ特ニ金九拾圓ヲ賜フ 佐藤 あ幾

故海軍一等機關兵佐藤重二戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ 内山 善市

故海軍一等機關兵内山榮戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

下佐 政吉  
故海軍一等機關兵下佐元吉戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ  
佐藤 百次郎  
故海軍一等機關兵佐藤春次戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ  
鷹左右兼太良

故海軍一等機關兵鷹左右三男戰役ノ功ニ依リ特ニ金百四拾圓ヲ賜フ  
村元 よし

故海軍二等水兵村元重太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ(以上ハニ海軍省)

海軍技手 高田 治清  
第五部勤務ヲ命ス(ニ海軍艦政本部)

海軍技手 松見 兵吉  
第五部勤務ヲ命ス(ニ海軍艦政本部)

桑原 憲政  
海軍軍醫學校海軍衛生試驗法教授助手ヲ囑託ス  
但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限リ判任官ヲ以テ待遇セラル(ニ海軍軍醫學校)

○ 雜 款

退役海軍軍醫大佐正五位勳四等船橋清信本月十日卒去、來十三日午後二時ヨリ三時迄東京府豊多摩郡大久保町大字西大久保二百三十一番地自宅(市電新田裏停留場下車)ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

○ 正 誤  
本月十日公報辭令欄中、本間右京ノ日附「ニ」ハ「ニ」ノ誤

○艦船所在

▲印ハノボリス  
指定ヲ要セス

○二月十二日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、扶桑、金剛

△矢風、沖風、澤風、峯風、△汐風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

▽潛波一、潛波二、潛波九、潛波一〇、▽潛呂一三、潛呂一一、潛呂一二

△神風、夕立、夕暮、初霜、如月、櫻洲崎、朝日、武藏、松江、高崎

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【沼津】

阿蘇

【大湊】

△時津風、磯風、天津風、濱風、▽潛呂二〇、潛呂二五、潛呂二二

【吳】

△明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、韓崎、矢矧、比叡、▽迅鯨、▽長鯨

▽谷風、菊、江風、葵

▽潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、▽潛波七、潛波八、▽潛呂五三、潛呂五一、▽潛呂一四、潛呂一六、潛呂一五、▽潛呂一八、潛呂一九、潛呂一七

▽潛呂五二、▽潛伊五二、▽潛呂六三、▽潛呂五九、▽潛呂五七、▽潛呂五八、▽潛呂五五、▽潛呂五四、▽潛呂五六、▽潛呂六〇、▽潛呂六一、▽潛呂六二、▽潛呂二八、▽潛呂二六、▽潛呂二七、▽潛伊五一

野間、能登呂、室戸、大和、攝津

△神戶

△宮島

▽鬼怒、大井、若宮

▽掃二、掃一、掃三

▽由宇沖

▽天龍、▽五十鈴

△德山

▽右衛門

▽三田尻

▽吾妻

▽關東

▽佐世保

▽桃、柳、檜、櫻、▽榎、椈、梨、竹、▽梅

0163

栗、柿、楡、 $\square$ 蓬、蓮、蓼、 $\square$ 萩、菱、  
 葦、 $\square$ 稗、 $\square$ 椿、 $\square$ 櫻、 $\square$ 榎、 $\square$ 桑、 $\square$ 驅一七、  
 驅四、  
 潜呂一、潜呂二、潜呂二五、 $\square$ 潜呂四、  
 潜呂五、潜呂三、潜呂二四  
 掃四、 $\square$ 朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪  
 敷島、襟裳、知床、劍崎  
 青島  
 駒橋  
 【西戸崎】  
 【馬公】  
 $\square$ 榎、松、杉、柏  
 $\square$ 潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三三  
 【蘇澳】夕張  
 【鎮海】 $\square$ 楓、梅、桂、楠  
 $\square$ 潜呂三三  
 【旅順】 $\square$ 桐、 $\square$ 樺、 $\square$ 櫻、 $\square$ 橘  
 【南洋群島】 $\square$ 淀  
 【上海】 $\square$ 嵯峨、伏見  
 【南京】 $\square$ 隅田  
 【漢口】 $\square$ 勢多  
 【長沙】 $\square$ 保津  
 【宜昌】 $\square$ 比良  
 【重慶】 $\square$ 壘田  
 【三都澳】 $\square$ 對馬  
 【マニラ】 $\square$ 鶴見  
 【バンクーバー】 $\square$ 淺間、出雲、八雲

【航海中】

佐多 (三日「セブ」發—徳山へ)  
 鳥羽 (六日南京發—漢口へ)  
 早鞆 (六日馬公發—「タラカン」へ)  
 鳴戸 (六日「マニラ」發—徳山へ)  
 隠戸 (九日「タラカン」發—「マニラ」へ)  
 膠州 (十日大湊發—吳へ)  
 大泊 (十日亞港發—小樽へ)  
 野島 (十一日吳發—旅順へ)  
 神威 (十一日舞鶴發—徳山へ)  
 陸奥、山城、日向 (十二日宮島發—江田島へ)  
 常磐 (宮島發—吳へ)  
 勝力 (十二日吳發—廣島灣へ)  
 浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月 (十二日  
 吳發—多度津へ)  
 富士 (十二日佐世保發—横須賀へ)

(部内限二頁)

0164

# 海軍公報

第三千六百八十二號

海軍大臣官房

大正十四年二月十三日(金)

## ○令 達

官房第四七三號

海軍諸例  
則查載

瑞典領海内ニ於ケル外國船ノ無電設備使用ニ關スル千九百二十四年七月二十五日附勅令今般在瑞典岡田臨時代理公使ヨリ別紙ノ通送付越タル旨外務省ヨリ通牒ニ接セリ此旨心得ヘシ

大正十四年二月十三日

海軍大臣 財 部 彪

(別紙)

瑞典領海内ニ於ケル外國船ノ無電設備使用ニ關スル千九百二十四年七月二十五日附勅令

無線電信無線電話等ノ電氣裝置ノ施設及使用ニ關スル千九百二十四年五月十六日附法律第九條(N121)ニ依リ瑞典皇帝ハ本令ヲ裁可ス

第一條 瑞典國領海内ヲ航行スル外國船上ニ施設セラ

海軍公報 第三六八二號 大正十四年二月十三日

レタル無電裝置ハ本令ニ於テハ之ヲ外國船ノ無電裝置ト稱ス

第二條 一、外國船ノ無電設備ハ瑞典國港區内ニ於テハ海軍軍令部長ノ同意ヲ得中央電信局ニ依リ特ニ許可セラレタルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ中央電信局ノ發セル細則ヲ嚴守スヘシ

二、外國船ノ無電裝置ハ瑞典海岸局ヨリ十哩未滿ノ瑞典國領海上ニ於テハ遭難ノ際又ハ最近海岸局ト通信スル場合ノ外之カ使用ヲ許サス

三、中央電信局ハ海軍軍令部長ノ同意ヲ得テ第二號ノ規定以外ノ瑞典國領海上ヨリノ通信ト雖外國船ノ無電裝置ノ使用ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得但シ遭難ノ場合ヲ除ク

第三條 瑞典國中央電信局ハ第二條ノ規定ニ從ヒ無電裝置ノ使用ヲ禁止セラレタル近海航行中ノ外國船ニ對シ其ノ無電裝置ノ使用停止ニ關シ必要ナル事項ニ關スル命令ヲ發スルノ權限ヲ有ス

第四條 中央電信局ハ全期間若ハ一定ノ期間又ハ特別ノ場合ニ於テ本令第二條第三號及第三條ヲ適用スルニ當リテハ關係法令ヲ適當ト認ムル方法ヲ以テ航海

0165

者ニ通知シ又水路嚮導管理局、中央税關局及地方官  
憲ニ對シ其ノ管掌事務ニ從ヒ前記法令ノ嚴守ヲ監視  
セシメムコトヲ要求スルコトヲ得

第五條 瑞典國領海内ニ於テ外國船ノ無電裝置ヲ使用  
スルニ當リテハ當該關係者ハ反對ノ規定ノ存セサル  
限りハ現行無線電信條約ノ條項及同條約附屬施行細  
則ヲ遵守スヘシ

第六條 本令及本令ニ則リ中央電信局ノ發スル規定ニ  
違反シタル場合ニハ二十五乃至一千「クロナ」ノ罰  
金ニ處ス

第七條 第六條ノ犯罪ハ檢察官ニ依リテ訴追セラルヘ  
シ  
犯罪ニ關スル管轄裁判權ニ關シテハ海上法第三百二  
十八條ノ規定ヲ準用ス

前記違反者ニ課スヘキ罰金ハ「クロナ」ヲ以テ徵收  
ス違反者無資力ニシテ科料金額ノ支拂不能ナルトキ  
ハ刑法ノ規定ニ依リ換刑セラルヘシ  
第八條 第六條及第七條ノ規定ハ軍艦ニ對シテハ之ヲ  
適用セス

本令ハ千九百二十四年八月一日ヨリ施行ス  
千九百二十四年七月二十五日

於「サーレー」島

瑞典皇帝 「グスタフ」署名

遞信大臣 「スフエン、リユートベック」副署

官房第四七四號

本年官房第三四三號ノ二ニ依リ採用スヘキ海軍水雷學  
校練習生中高等科魚雷練習生ニ限リ大正十四年三月ニ  
於テ之ヲ採用スルコトヲ得

大正十四年二月十三日

海軍大臣 財部 彪

○ 通牒

經豫第六八號

大正十四年二月十二日

海軍省經理局長 深水貞吉

歳出支拂未済ノ金額ニ相當スル資金ノ取扱ニ關シ別紙  
藏計第四八號ノ通大藏大臣ヨリ通知アリタリ  
右依命通知ス  
(別紙)

藏計第四八號

大正十四年二月四日

大藏大臣 濱口雄幸

海軍大臣 財部 彪殿

出納官吏事務規程第三十五條、第三十六條又ハ保管金

取扱規程第七條ノ二ノ規定ニ依リ支拂未済金額ニ相當スル資金ヲ歳入ニ組入ルル場合ハ一般會計ニ係ルモノハ總テ大藏省所管取扱應大藏大臣官房會計課歳入徴收官大藏大臣官房會計課長ノ取扱フ一般會計歳入ニ、又特別會計ニ係ルモノハ所管大臣ノ指定スル歳入徴收官ノ取扱フ當該會計歳入ニ組入ルヘク當該支拂未済金ニ對スル償還金支拂ハ一般會計ニ在リテハ大藏省所管歳出諸支出金償還金ヨリ特別會計ニ在リテハ當該會計歳出諸支出金償還金ヨリ支出スルコトトシ之カ償還順序ハ客年六月十一日藏第五八八六號通牒小切手支拂未済金償還順序内規ニ依リ御取扱相成度仍出納官吏事務規程第三十九條及第四十條及第五十六條ニ規定スル隔地ノ債主又ハ出納官ニ送金ノ爲預託金支拂通知書ヲ送付シタル場合又ハ保管金取扱規程第八條ニ規定スル保管金他店拂ノ爲保管金支拂通知書ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シ當該資金ヲ歳入ニ組入及償還請求ニ對スル支拂ヲ爲ス場合モ總テ前段ニ準シ御處理相成候様致度此ノ段及御通牒候也

追而資金前渡官吏カ出納官吏事務規程第三十五條ノ規定ニ依リ報告スヘキ支拂未済金ニ關スル報告書ハ本文ノ區分ニ依リ歳入徴收官ニ、保管金拂渡ノ爲ニ振出シタル小切手ニ對スルモノニ付テハ取扱主任官ヨリ出納官吏事務規程第三十五條ノ規定ニ準シ當該官廳ノ長ヲ經由シテ歳入徴收官ニ報告セシメラレ度

申副候

○ 辭 令

○大正十四年二月十三日

兼任海軍書記

海軍錄事 松尾 重夫

鎮海要港部附ヲ命ス(十三日海軍省)

海軍書記 松尾 重夫

第三課勤務ヲ命ス(十三日海軍省經理局)

海軍主計中佐 高松 長三

○ 雜 款

○郵便物發送先

第一水雷戰隊司令部、天龍、第十三(驅六、驅二、驅八)、第十五(藤、萩、萬、薄)、第十六(驅一八、驅一六、驅一〇、驅一二)驅逐隊宛

二月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
三月十七日迄ニ 同 由 宇  
其ノ後ハ 吳

○移轉並書類送付先

海軍機關學校生徒科來ル三月一日廣島縣江田島ヨリ京都府中舞鶴へ移轉ニ付爾今同科宛ノ書類ハ右ニ據リ送付セラレタシ  
追テ選修學生並生徒ニ關スル公式書類ハ一切生徒科宛ニ送付セラレタシ  
(海軍機關學校副官)

○出發

歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍造兵大尉佐藤強介ハ來ル二月十五日神戸出帆ノ加茂丸ニテ出發ノ豫定

○改姓

海軍主計少尉小林茂路ハ松浦ト改姓ノ旨一月三十一日届出タリ

0168



○艦船所在

指印△印△ハカレ  
指定△印△ハカレ  
△印△ハカレ

○二月十三日午前十時調

【横須賀】

加賀、千早、筑摩、榛名△、滿州、北上、磐手、日進、鳳翔、長門、扶桑△、金剛△

△矢風、沖風、澤風、峯風、△汐風、灘風、島風、夕風、浦風、三日月、白露、驅一五

△潛波一、△潛波二、△潛波九、△潛波一〇、△潛波一三、△潛波一一、△潛波一二

△神風△、夕立、夕暮、初霜、如月、響洲崎、朝日、武藏、松江

【浦賀】

阿武隈、驅一一

【大湊】△時津風、磯風、天津風、濱風、△潛呂二〇、△潛呂二一、△潛呂二二、尻矢

【吳】明石、千歲、木曾、球磨、多摩、平戸、伊勢、韓崎、矢矧、比叡△、△鬼怒、大井、△迅鯨、△長鯨、常磐、若宮

△谷風、菊、江風、葵、△潛波三、△潛波四、△潛波五、△潛波六、△潛波七、△潛波八、△潛波五三、△潛波五一、△潛波一四、△潛波一六、△潛波一五、△潛波一八、△潛波一九、△潛波一七、△潛波五二、△潛波五二、△潛波六三

【神戸】

神通、野間、能登呂△、室戸、大和、攝津、間宮

△潛呂五九、△潛呂五七、△潛呂五五、△潛呂五四、△潛呂六〇、△潛呂六一、△潛呂二八、△潛呂二六、△潛呂二七、△潛呂二八

△多度津、△浦波、磯波、綾波、水無月、長月、菊月、△江田島、△陸奥、山城、日向

△宮島、△掃二、掃一、掃三、△由宇沖、△天龍、△五十鈴

△驅一八、△驅一六、△驅一〇、△驅一二、△驅一、△薄、△葛、△驅六、△驅二、△驅八、△波風、沼風、驅一、野風、△驅七、△驅三、△驅五、△驅九、△太刀風、帆風、羽風、秋風

【德山】佐多、【三田尻】霧島、△名取、由良、川内、【龜川】長良、【舞鶴】吾妻△、春日、利根、△山風、海風、檜、榎

【糠浦】關東、【佐世保】最上△、宇治、龍田、安宅、△桃、柳、檜、榎、△榎、△榎、△梨、竹、△榎

栗、柿、楡、**□**蓬、蓮、蓼、**□**蕨、菱、  
 葦、**□**椿、**▲**榿、**▲**榎、**▲**桑、**▲**櫻一七、  
 櫻四、  
 潜呂一、潜呂二、**□**潜呂四、潜呂五、  
 潜呂三、潜呂二四  
 掃四、**□**朝風、潮、子日、春風、若葉、  
 初雪  
 敷島、**▲**襟裳、**▲**知床、  
**【馬公】** 駒橋  
**□**榿、松、杉、柏  
**□**潜呂二九、潜呂三〇、潜呂三一  
**【基隆】** 夕張  
**【鎮海】** **□**楓、梅、桂、楠  
**□**潜呂二三  
**【旅順】** **□**桐、榿、櫻、橘  
**【龍津群島】** 淀  
**【上海】** 嵯峨、伏見  
**【南京】** 隅田  
**【漢口】** 勢多  
**【長沙】** 保津  
**【宜昌】** 比良  
**【重慶】** 堅田  
**【マニラ】** 鶴見  
**【バンクーバー】** 淺間、出雲、八雲  
**【航海中】**

鳥羽 (六日南京發—漢口へ)  
 早瀬 (六日馬公發—「タラカン」へ)  
 鳴戸 (六日「マニラ」發—徳山へ)  
 隠戸 (九日「タラカン」發—「マニラ」へ)  
 膠州 (十日大湊發—吳へ)  
 大泊 (十日亞港發—小樽へ)  
 高崎 (十日横須賀發—吳へ)  
 野島 (十一日吳發—旅順へ)  
 神威 (十一日舞鶴發—徳山へ)  
 勝力 (十二日吳發—廣島灣へ)  
 富士、潜呂二五 (十二日佐世保發—横須賀へ)  
 對馬 (十二日三都澳發—廈門へ)  
 劍崎 (十二日佐世保發—吳へ)  
 青島 (十二日西戸崎發—舞鶴へ)  
 石廊 (十二日徳山發—吳へ)  
 阿蘇 (十三日沼津發—横須賀へ)

(部内限六頁)

0170